

7孔型アルトリコーダー ドイツ式 右手用 (309AF-GR) 取り扱い説明書

このリコーダーは主に自由に動く右手を上にし、不自由な左手を下にして合わせて5つの音孔を操作できれば演奏することができます。(片手の5指のみでは使用できません)

《使い方》

右手で裏側1つ(親指)と表側2~3つ、左手で1~2つ(裏表は問わず)、合計5つ(音孔番号0~4まで)の音孔を操作します。(このタイプでは音孔番号の5, 6は操作しません。また、合計6つ以上操作できる方にはイギリス式が適しています)

《組み立て方》

中部管(図1の管体①~④まで)は手に合わせて音孔を押さえやすい位置に回転させて使用します。適正な音孔の位置を見つけるために、初めのうちはビニールテープなどで仮止めをして使うことをお勧めします。位置が決定したら付属の接着剤で接着します。

《接着時の注意》

突起(図2)を目印にしてクレヨンなどでマーキングして位置を合わせて下さい。接着剤をつけた後(図3)は、まっすぐに差し込んで下さい。瞬時に固定されますので、塗布後は素早く作業して下さい。接着の途中で回転させようとしても動きません。

※ 頭部管と足部管は接着しないで下さい。

《指使い》

裏面の「運指表」をご覧ください。(出せない音は省かれています)

《アルト改造リコーダー309AFシリーズのご紹介》

- ◇ 7孔型イギリス式 (309AF-E)
片手で2つ以上、両手合わせて6つ以上の音孔を操作できる人に適しています。左右共用です。
- ◇ 7孔型ドイツ式 右手用 (309AF-GR)... このモデル
両手合わせて5つの音孔が操作でき、右手優先の人に適しています。(片手のみでは使用できません)
- ◇ 7孔型ドイツ式 左手用 (309AF-GL)
両手合わせて5つの音孔が使用でき、左手優先の人に適しています。(片手のみでは使用できません)

(親指操作のできない方には別途、一般用のアルトリコーダーからの改造が適しています)

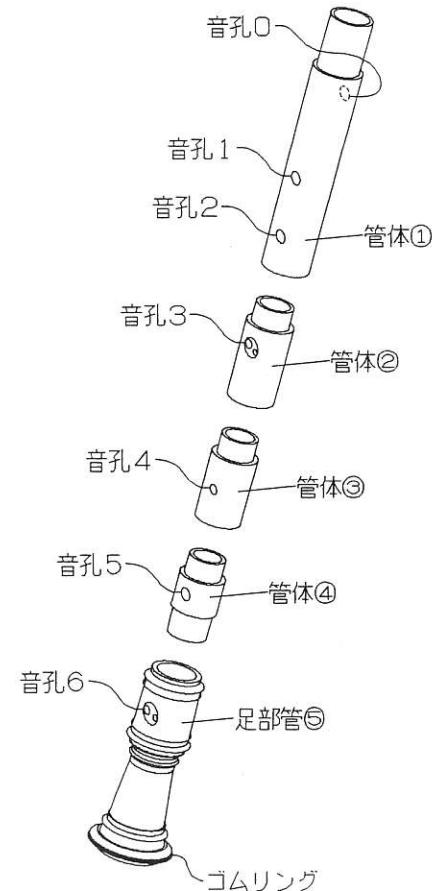


図1

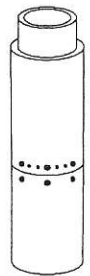


図2

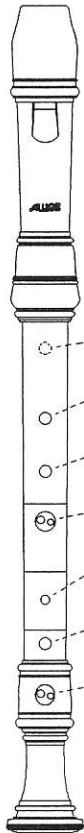


図3 (接着剤の付け方)

7孔型アルトリコーダー運指表

ドイツ式

(右手用)



309AF-GR

(0) 親指(裏)	●	●	●	●		●	●	●	●	○	○	○	○		●	●	●	●	●	●	●		●	●	
(1)	●	●	●	●		●	○	○	○	●	●	●	●	○		●	●	●	●	●	●	●		●	○
(2)	●	●	●	●		○	●	●	○	●	○	○	○	○		●	●	●	●	●	○	○		○	○
(3)	●○	●○	●○	○		○	●○	●○	○	○	○	○	○	○		●○	●○	●○	○	○	○	○		●○	●○
(4)	●	○	○	○		(●)	○	●	(●)	●	(●)	○	●	(●)		●	○	●	○	○	○	○		●	●
(5) 操作しない	・	・	・	・		・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・	・	・	・	・		・	・
(6) 操作しない	・	・	・	・		・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・	・	・	・	・		・	・

○ 開ける ● 閉じる ● サミングする (●) 楽器を支えるために閉じてもよい